

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 4 月 3 日

事務事業名		多面的機能支払交付金事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	050105000861
政策体系		政策体系上の位置付け				単独/補助		所属課	050101
総合計画の施策名		0501 農業の振興				主要事業	対象外		
政策名		05 魅力と活力のある産業社会づくり				市長マニフェスト	対象外		
施策名		01 農業の振興				未来PJ事業	対象外	グループ	農政G
基本事業名		05 農村環境の保全				合併建設計画事業	対象外		
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し (年度~)
	01	06	01	05	08	00	多面的機能支払交付金事業		← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入
法令根拠		桜川市多面的機能支払交付金要綱							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 【事務事業の内容】 平成27年度に農地・水・環境保全向上対策事業から多面的機能支払交付金事業に移した。 農村の生活環境の整備を積極的に推進する。 補助金交付申請、事業計画、実績報告の提出  【担当が行う業務の手順】 事業が円滑に推進し、交付団体が確実に活動するよう指導する。 活動内容が年度計画遂行しているか確認する。  【事業費の内訳】 補助金 国50% 県25% 市25%
	②担当が行う業務の内容・やり方・手順 ・事業が円滑に推進し、交付団体が適正に活動するよう指導する。 ・活動内容が年度計画遂行しているか確認する。 ・各申請書及び実績報告書類の確認。
	(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
【担当が行う業務の手順】 事業が円滑に推進し、交付団体が確実に活動するよう指導する。 活動内容が年度計画遂行しているか確認する。	採択組織	組織	68.00	73.00	72.00	72.00	72.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
事業の計画申請実績報告・活動組織への交付金支払事務・実施状況報告書の事務確認。現地検査・数量検査。茨城県に報告。	採択地区	地区	68.00	73.00	72.00	72.00	72.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
農業者等による活動組織が取り組む、水路の泥上げや地域資源の基礎的保全活動、共同活動を支援し、良好な保全といった地域資源の質的向上を図る。	負担金	千円	41,277.00	46,834.00	46,834.00	46,834.00	46,834.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	期間限定 総投入量		
		(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)			
投入量	事業費	国庫支出金	千円	82,554	82,967	84,959	85,000	85,000	0
		県支出金	千円	41,276	41,483	42,479	43,000	43,000	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	41,277	46,834	44,262	44,000	44,000	0
	事業費計(A)	千円	165,107	171,284	171,700	172,000	172,000	0	
人員費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人		
	述べ業務時間	時間	600.00	650.00	650.00	650.00	650.00		
	人件費計(B)	千円	1,741	1,886	1,886	1,886	1,923		
トータルコスト(A)+(B)		千円	166,848	173,170	173,586	173,886	173,923		

事業費の内訳	28年度事業費 実績 (千円)			29年度事業費 予算 (千円)			
	01 報酬	1,621		01 報酬	1,514		
	04 共済費	228		04 共済費	243		
	09 旅費	27		09 旅費	26		
	11 需用費	107		19 負担金補助及び交付金	169,917		
	12 役務費	28					
	19 負担金補助及び交付金	169,273					
合計			171,284	合計			171,700

(4) 当該年度の実施内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する  ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	多面的機能支払交付金事業	事務事業No.	50105000861	所属課	農林課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
農地の環境保全と地域の活性化につながる開始年度は平成19年度である。地区の水路保全や環境整備事業であり、平成23年度からは向上活動が追加され、平成24年度以降農地水支払交付金事業が採択された。平成26年度から多面的機能支払交付金事業に移行され、桜川市からの補助金事業として実施される。開始年度から5年の期間。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
地域の環境が良くなったこと、農業者と非農家の交流も出来たが、土地を持っていない非農家になぜ草刈り等の手伝いをするのか疑問の声もある。事業の目的の説明が必要である。また農業施設維持管理や長寿命化している施設にたいする補修、更新は活発になっている。桜川市土地改良区の区域に属しているため本事業だけで農業用施設の補修、新規更新は出来ない、桜川市土地改良区の長期的な補修計画が必要である。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	平成19年度から実施された事業であり、桜川市として10年間継続して、農用地環境と農業施設保全に事業を推進してきた。平成30年度以降は、広域化して効率的な事務事業にしていく。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ・農地の保全や農業経営の安定化が図られる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ・環境保全向上対策事業については公共性が高い。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ・現状維持。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ・耕作放棄地の増加と農業施設の管理ができなくなり、農業経営への影響と各種事業が効果的に実施できない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 活動組織間で広域協定を推進し、組織の一本化を図る。整備が完了した地区については桜川市土地改良区へ移行する。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ・事業実施団体は地区内の組織であり、人件費等すべて交付金である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である ・市内における農業施設を保持している地区対象であるため公平性を保っている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	・組織数が73組織になり、事務作業が煩雑かつ膨大になっている。組織への書類作成の際の手順等を十分に周知・指導し、事務作業の効率化を図る。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
(6) 事務事業優先度評価結果																										
成果優先度評価結果		④																								
コスト削減優先度評価結果		⑧																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認